

ガラス (模造石)

写真撮影・文：渥美 郁男

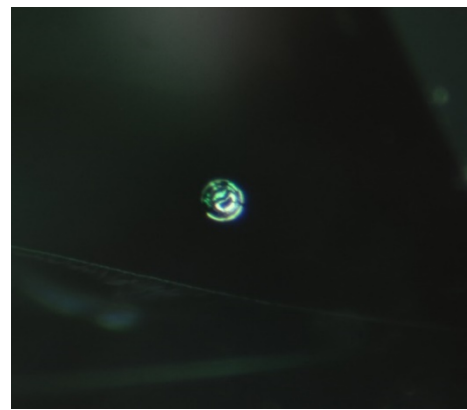
株式会社宝石科学アカデミー

(一般社団法人 日本宝石協会 会員)

天然宝石を模倣する役割を果たしてきたもののひとつに人造のガラスがある。ガラスは珪塩酸溶融物を主体とする無機質のも。冷却しても結晶化しないことから非晶質と呼ばれる。ガラスで作られた模造石は“ねりもの”と一括して呼ばれることがある。その製法によりストラスやペーストに分類され、その種類はシリカ・ガラス、ソーダまたは珪酸カリウム・ガラス、石灰ガラス、鉛ガラス、特殊ガラスなど多種に及ぶ。巧妙に作られたガラスの模造石は侮れない。鑑別法の一つとして拡大検査がある。铸造ガラス特有の丸い気泡や針状、チューブ状の内包物や、ガラスの溶融と形成時にできた歪みなどがみられる。



エメラルドを模倣した緑色ガラス



铸造ガラス特有の丸い気泡